

チェック

次の問題に答えましょう。

① に最もふさわしい数を答えましょう。

ア $4.7 + 8.4 + 5.3 = (4.7 + \text{ア}) + \text{イ}$ ア () イ ()

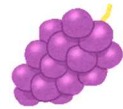
イ $3.5 \div 0.25 = (3.5 \times 4) \div (0.25 \times \text{ウ})$ ウ ()

② $\square - 3.6 = 7.9$ の□はどんな計算で求められるか答えましょう。 ()

③ 次の式は、何の代金を表していますか。右の絵をみて答えましょう。

ア 60×5 ()

イ $150 + 480$ ()



リンゴ1個
150円

ぶどう1ぶさ
480円

バナナ1本
60円

問題

たいちさんの学級では、体育の時間に50mハードル走を行っています。

はじめに、50m走のタイムをはかり、そのタイムをもとに50mハードル走の目標タイムを決めることになりました。たいちさんの50m走のタイムは、9.3秒です。

50mハードル走の目標のタイムは、次の式で求めることにします。

$$50\text{m走のタイム} + 0.5(\text{秒}) \times \text{ハードルの数} = \text{目標のタイム}$$

ハードルの数を3台にしたとき、目標のタイムは何秒になるか、先生が次のように説明しました。



先生

この式で「0.5(秒)×ハードルの数」の部分は、ハードルをこえるときふえる分の時間です。ハードルが3台のとき、ハードルをこえる時間は、 $0.5 \times 3 = 1.5$ (秒)です。式にあてはめると、 $9.3 + 0.5 \times 3 = 10.8$ だから、目標タイムは10.8秒です。

(1) ハードルの数が4台のとき、目標のタイムは何秒ですか。先生の説明を参考にしてください。



たいちさんは、目標のタイムを達成することができたので、そのことを先生に伝えました。すると、先生が次のように言いました。



よくがんばっていますね。目標が達成できたので、新しい次の目標を立てましょう。ハードルの数をふやす方法もありますが、今日は、50mハードル走の目標のタイムを求める式をつくりなおしてみましょう。たとえば、このように変えてみるとどうかな？

(もとの式) $50\text{m走のタイム} + 0.5(\text{秒}) \times \text{ハードルの数} = \text{目標のタイム}$

(新しい式) $50\text{m走のタイム} + 0.4(\text{秒}) \times \text{ハードルの数} = \text{目標のタイム}$

(2) たいちさんは、新しい式では、0.5だったところが0.4になっていることに気づきました。

この0.5や0.4はどのような時間を表している数と考えられますか、言葉や数を使ってかきましょう。